

計画目標
の考え方

- (1) 推計により集団回収量を算出し、集団回収量等を含めた『推定実態』により目標を設定。(①)
- (2) 集団回収量を除いたものを、計画目標値(②)とする。

推定実態による目標設定

現状（20年度）

排出量：95.3万t
再生利用量：20.4万t
最終処分量：11.0万t

集団回収量
加算

現状（20年度）

排出量：100.6万t(5.3万t)^{*}
再生利用量：25.7万t(5.3万t)^{*}
最終処分量：11.0万t

人口等により
推計

将来推計（27年度）

排出量：93.0万t(5.7万t)^{*}
再生利用量：25.4万t(5.7万t)^{*}
最終処分量：10.1万t

各種施策
の展開

目標設定の考え方

計画目標（27年度） ②

排出量：85.8万t
再生利用量：20.9万t, 24.4%
最終処分量：9.5万t, 11.1%

集団回収量
控除

推定実態による目標（27年度） ①

排出量：91.5万t
(5.7万t)^{*}
再生利用量：26.6万t, 29.1%
(5.7万t)^{*}
最終処分量：9.5万t, 10.4%

排出量（集団回収量除く）：平成20年度に対し、10%削減
（内訳：人口減等により8%、施策展開により2%削減）
集団回収量：将来推計値（一人当たりの原単位の伸び等により7%増）を下回らない
再生利用量：第2次計画の再生利用率目標(29.1%)を達成
（第2次計画では、未達成の見込み）
最終処分量：平成20年度に対し、1.5万t削減(▲14%)
〔内訳：排出量の削減目標によるもの10%
処分量削減施策展開により4%〕

※（ ）内は、集団回収量で、排出量等の内数

- ①溶融スラグ利用促進 3%
- ②その他の施策展開 1%

- ①人口減等 8%
- ②排出量削減施策展開 2%

計画目標

(単位：万t)

区分	年度	現状		将来推計			目標			
		【20年度】	【27年度】	排出量Aに占める割合	排出量Cに占める割合	対20年度比	【27年度】	排出量Aに占める割合	排出量Cに占める割合	対20年度比
排出量	市町回収(A)	95.3	87.3	100%	—	▲8.4%	85.8	100%	—	▲10%
	集団回収(B)	5.3	5.7	—	—	—	5.7	—	—	—
	合計(C:A+B)	100.6	93.0	—	100%	—	91.5	—	100%	—
再生利用量	市町回収(D)	20.4	19.7	22.6%	—	—	20.9	24.4%	—	—
	集団回収(B)	5.3	5.7	—	—	—	5.7	—	—	—
	合計(D+B)	25.7	25.4	—	27.3%	—	26.6	—	29.1%	—
最終処分量		11.0	10.1	11.6%	10.9%	▲8.2%	9.5	11.1%	10.4%	▲14%

1 一般廃棄物（ごみ）の将来推計の考え方について

集団回収量を除いた第2次計画目標の進捗状況

(単位：万t)

区分	年度	実績 【平成17年度】		現状 【平成20年度】		計画目標 【平成22年度】		進捗状況
		量	割合	量	割合	量	割合	
排出量		106.6		95.3		96.0		達成見込み
再生利用量		21.4	20.1%	20.4	21.4%	24.0	25.0%	未達成
最終処分量		15.9	14.9%	11.0	11.5%	13.0	13.5%	達成



推定実態での第2次計画目標の進捗状況

(単位：万t)

区分	年度	実績 【平成17年度】		現状 【平成20年度】		計画目標 【平成22年度】		進捗状況
		量	割合	量	割合	量	割合	
排出量		111.5		100.6		101.5		達成見込み
うち集団回収量		4.9		5.3		5.5		
再生利用量		26.3	23.6%	25.7	25.5%	29.5	29.1%	未達成
うち集団回収量		4.9		5.3		5.5		
最終処分量		15.9	14.2%	11.0	10.9%	13.0	12.8%	達成

2 将来予測の推計方法

推計人口：国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口（平成20年12月推計）」を基に推計（本推計は5年ごとの予測結果であるため、予測結果がない年度については三次曲線式を用いた線形補完により推計）

排出量：①生活系，②事業系，③集団回収量に分け，①及び②については市町別に将来推計し合計
③については，全県で将来推計

①生活系：平成14年度から平成20年度までの1人1日当たり排出量（原単位）を基に，トレンド法により予測（傾向がみられない場合は，平成20年度実績で推移するものと推定）

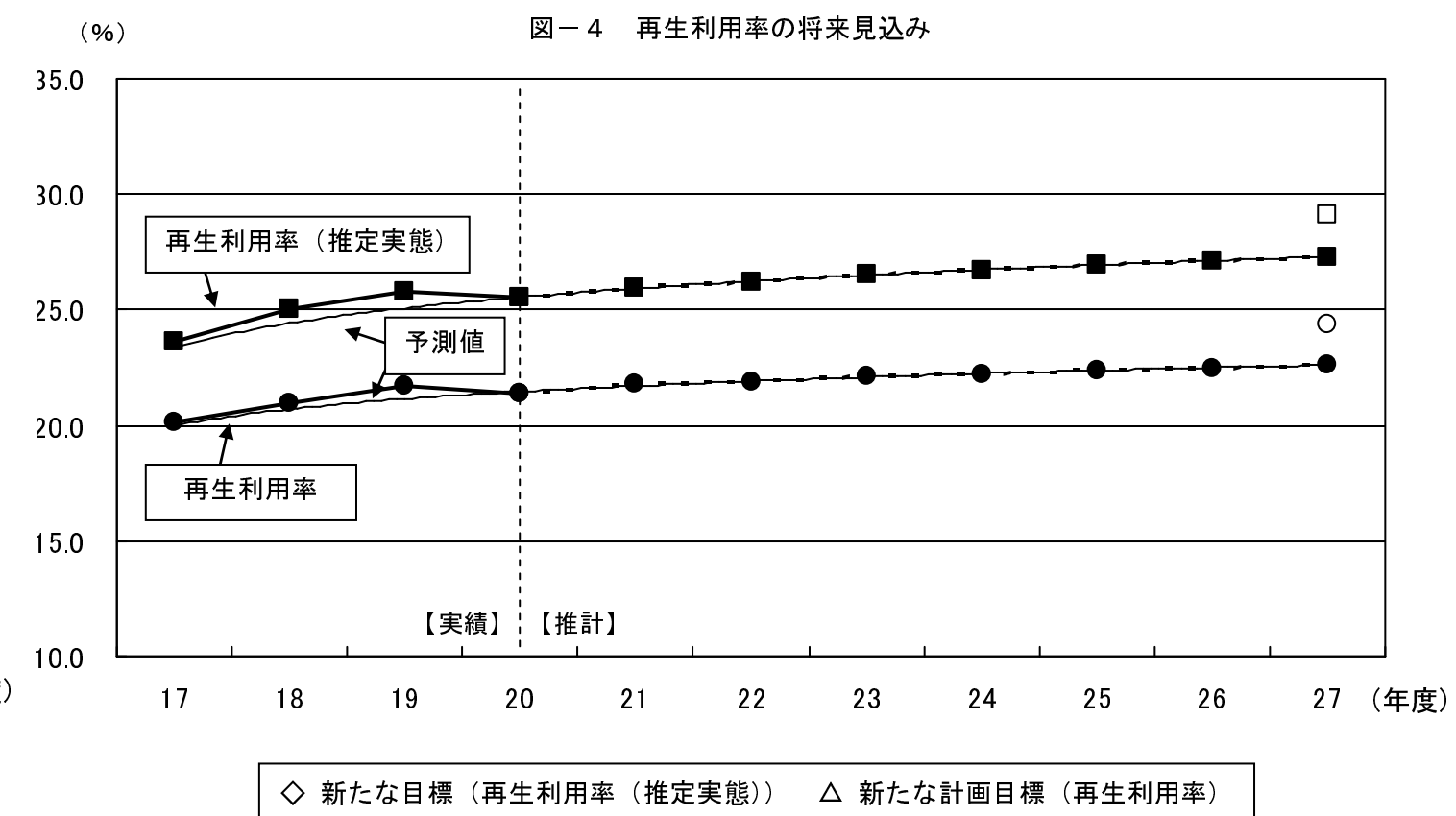
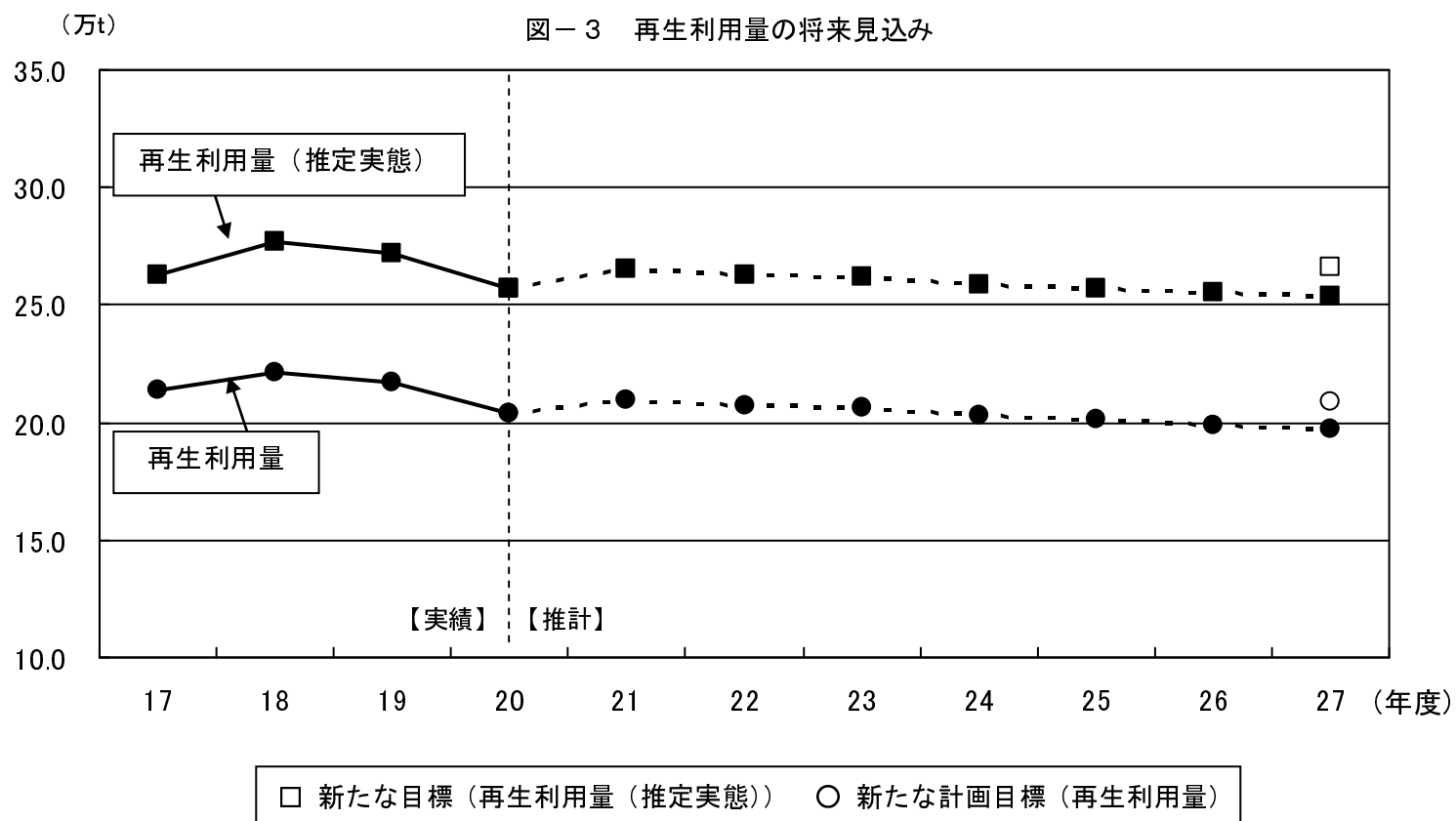
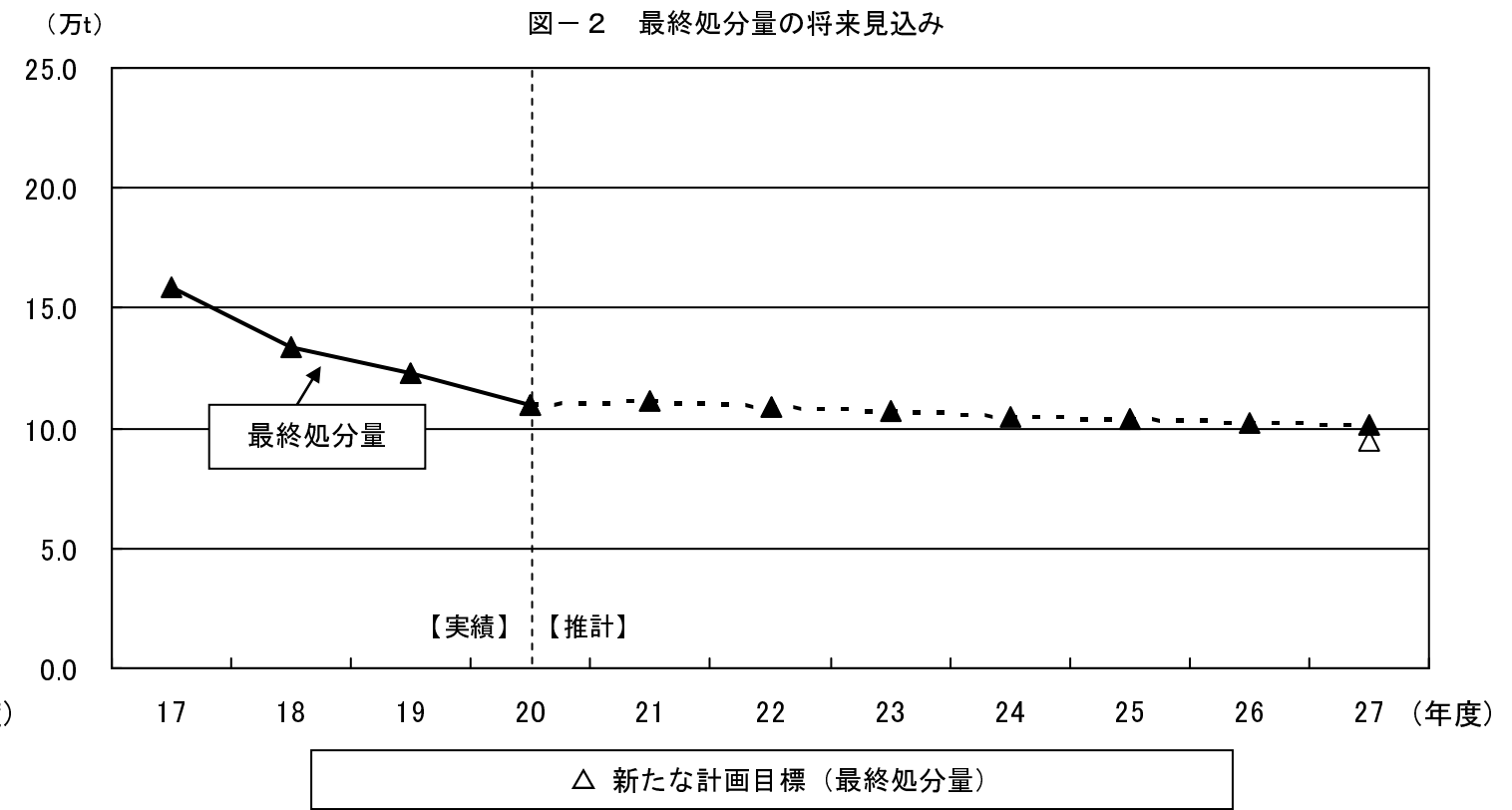
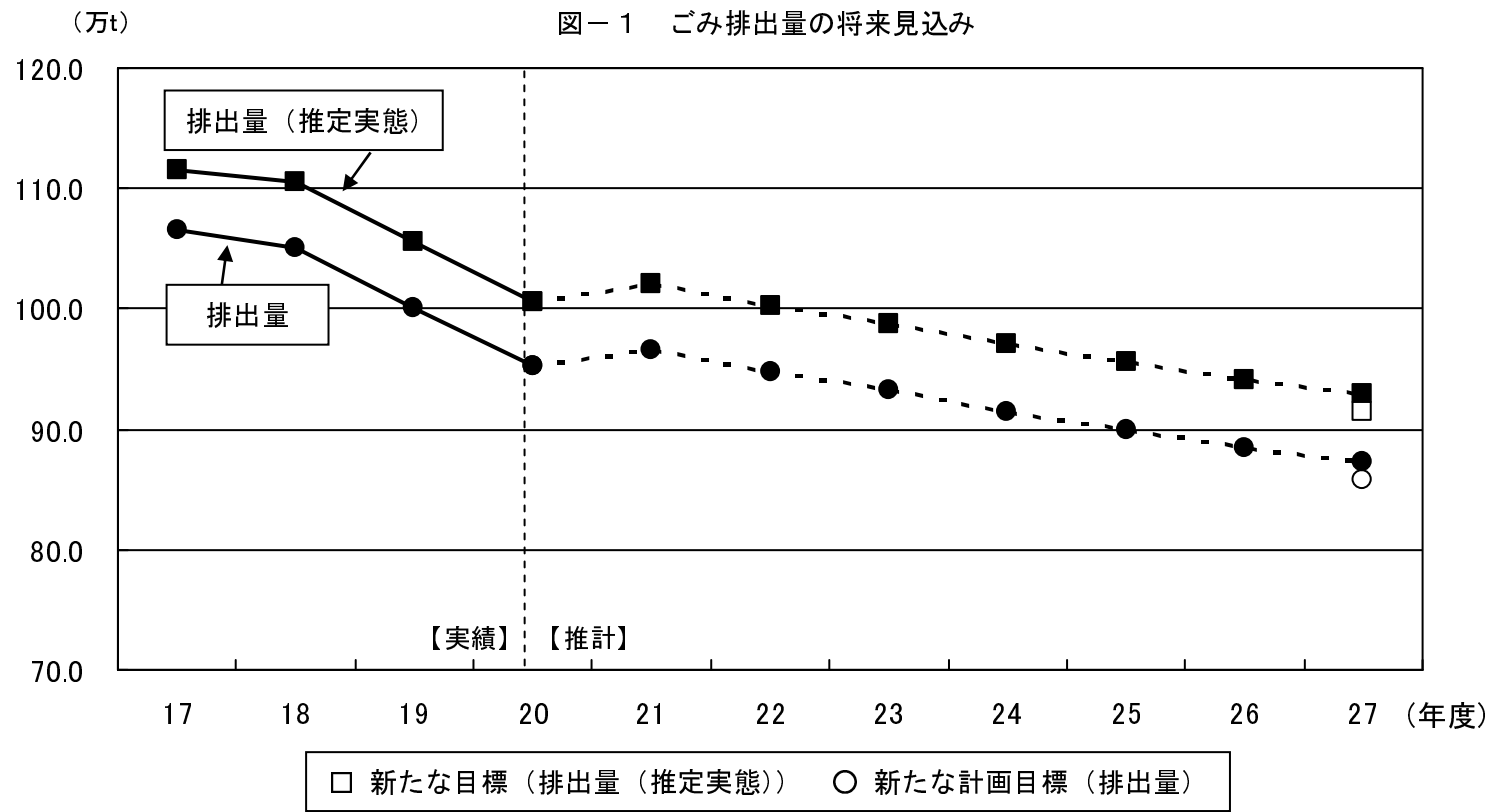
②事業系：平成14年から平成20年度までの排出量を基に，トレンド法により予測（傾向がみられない場合は，平成20年度実績で推移するものと推定）

③集団回収量：集団回収量の実績がある市町の平成14年度から平成20年度までの回収量を基に，1人1日当たり回収量を算出し，トレンド法により全県を推定

再生利用量：平成16年から平成20年度までの再生利用率を基に，トレンド法により予測し，排出量に乗じて算出

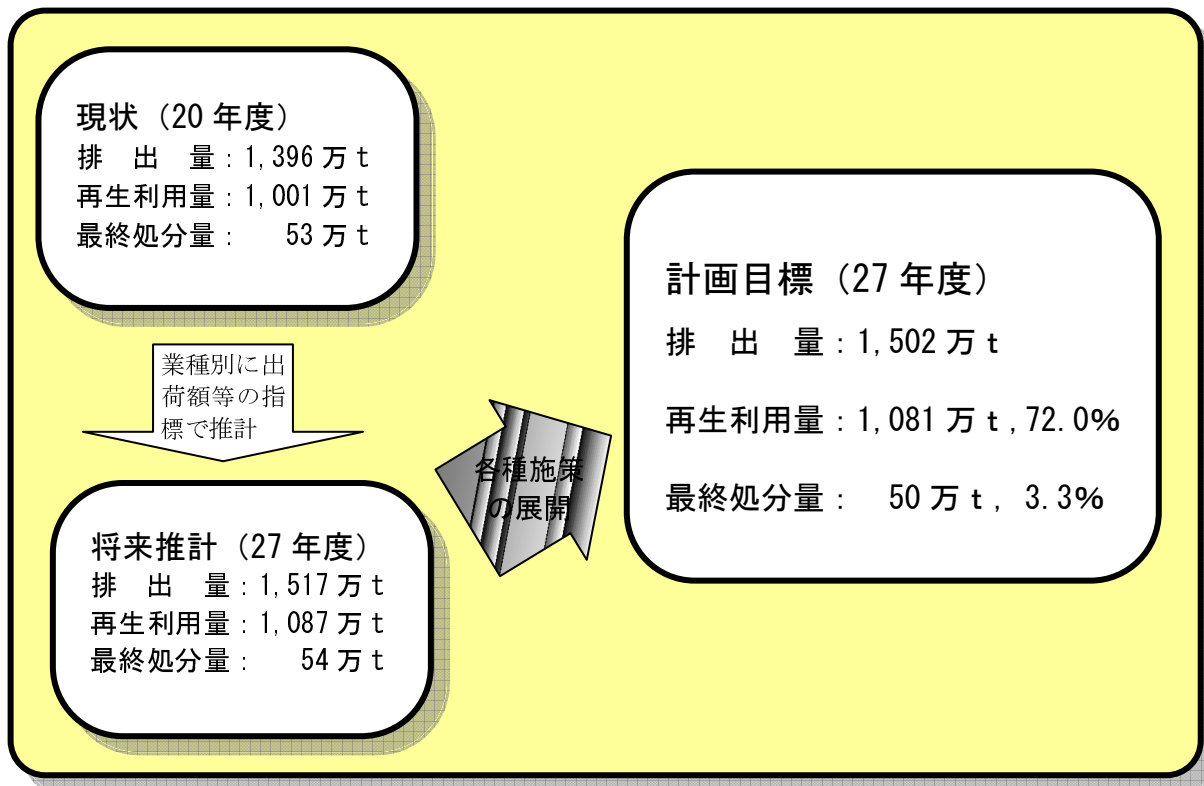
最終処分量：平成20年度の最終処分率を排出量推計値に乗じて算出

※トレンド法とは過去の実績の傾向（トレンド）を基に，回帰式を用いて将来推計を行う方法



第3次広島県廃棄物処理計画の計画目標案（産業廃棄物）

計画目標の考え方



排出量

- ・平成27年度推計排出量から1%削減
 事業活動の拡大等により将来推計は若干増加するが、多量排出事業者の減量化計画策定等の自主的な取組を促進し、将来推計から1%抑制を目標とする。

再生利用率，再生利用量

- ・排出量の減により， ▲11万t
- ・再生利用率が全国水準を下回る廃棄物の引き上げ，コンクリ等の再資源化目標率（建設リサイクル推進計画：98%）の達成，建設混合廃棄物の分別徹底により，

5万t

将来推計と比較し 計▲6万t

再生利用率 現状 71.7%→目標 72.0%

最終処分量率，最終処分量

- ・排出量の減により， ▲1万t
- ・再生利用量の増加により， ▲3万t

将来推計と比較し 計▲4万t

最終処分量率 現状 3.8%→目標 3.3%

計画目標

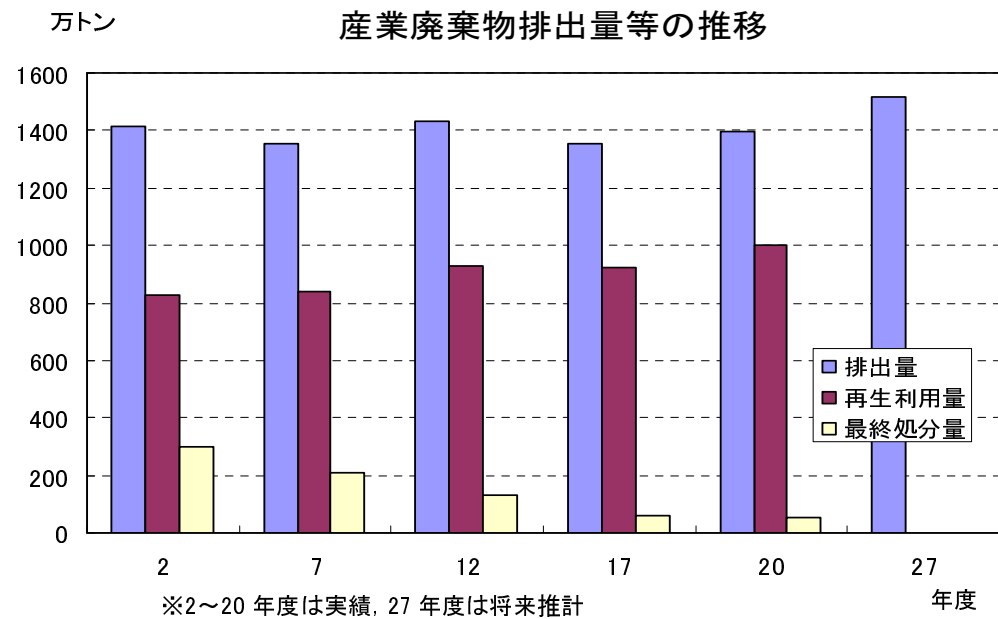
（単位：万t）

年度 区分	現 状		将来推計		計画目標		
	【20年度】	排出量に占める割合	【27年度】	排出量に占める割合	【27年度】	排出量に占める割合	対20年度比
排出量	1,396		1,517		1,502		7.6%
再生利用量	1,001	71.7%	1,087	71.7%	1,081	72.0%	8.0%
最終処分量	53	3.8%	54	3.6%	50	3.3%	▲5.7%

計画目標案(産業廃棄物)の考え方

1 排出量

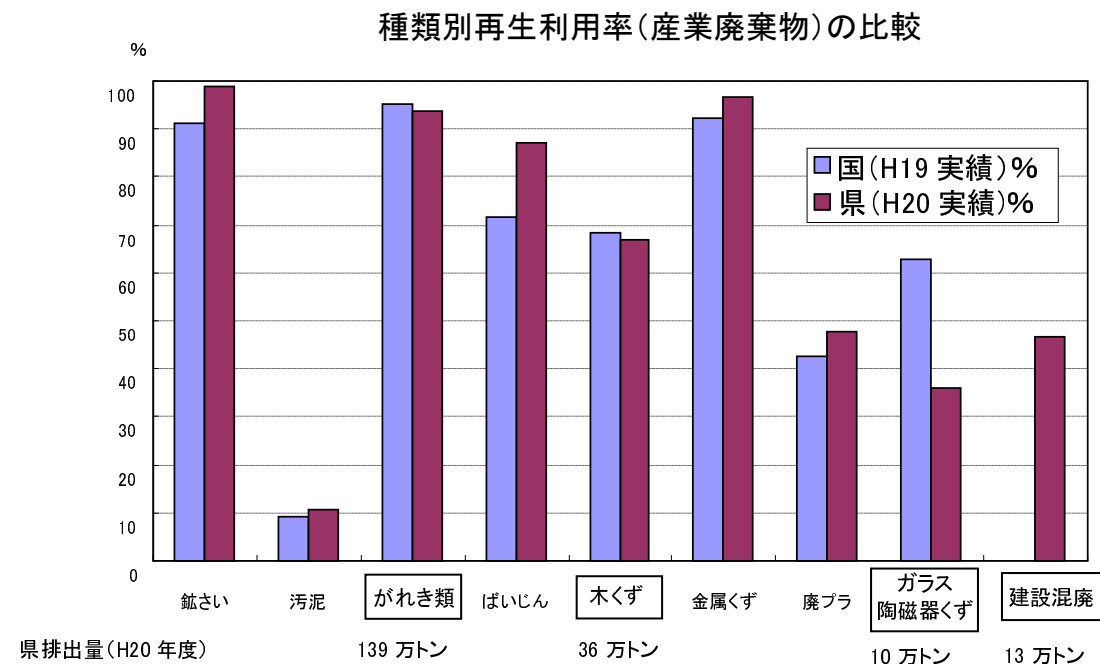
事業活動の拡大等により、将来推計は増加するが、排出抑制は最優先に取り組むべき課題であるため、多量排出事業者(年間排出量 500t以上)の減量化計画策定等の自主的な取組を促進して、排出抑制の推進を図ることとし、将来推計から最小の数値である1%の抑制率を設定する。



2 再生利用量

廃棄物の種類別の再生利用率は、多くの種類について全国水準を上回っているが、ガラス・陶磁器くず、がれき類及び木くずについては全国水準に達していない。また、建設工事に伴って発生し混合した状態で排出される混合産業廃棄物については、分別が困難であること等から、再生利用が進んでいない。

このため、ガラス・陶磁器くず、がれき類、木くず及び混合産業廃棄物について、全国水準又は国の目標値に向けて再生利用率の向上を図ることとして、目標を設定する。



目標とする再生利用量の増加

廃棄物の種類	目標とする再生利用量の増加(万t)	目標の考え方
ガラス・陶磁器くず	0.6	全国の再生利用率の水準に向け、H27年度の再生利用率を50%に引き上げる。 《再生利用率》[27] 全国見込 64% [20] 県 36% ⇒ [27] 県目標 50%
木くず	0.6	全国の再生利用率の水準に向け、H27年度の再生利用率を68%に引き上げる。 《再生利用率》[27] 全国見込 69% [20] 県 67% ⇒ [27] 県目標 68%
がれき類	2.0	国の再資源化目標(建設リサイクル推進計画 2008)を達成するために必要な再生利用量の増加を図る。 《再生利用率》 [20] 県 96% ⇒ [27] 国目標 98%
建設混合産業廃棄物	1.3	国の再資源化目標(建設リサイクル推進計画 2008)を達成するために必要な再生利用量の増加を図る。 《排出量》 [27] 県目標 = 国目標 17年度の△40%
計	4.5	

※ [27]全国見込:[19]全国平均に+1%

3 最終処分量

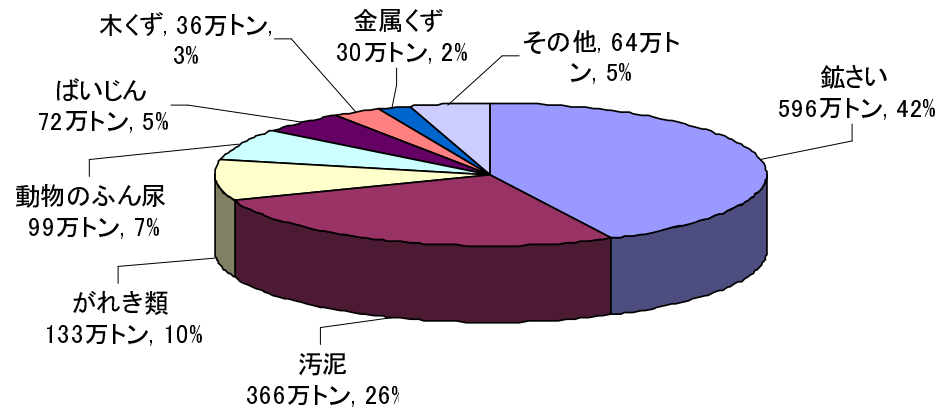
再生利用量を増加させることにより、最終処分量の削減を図る。

目標とする最終処分量の削減

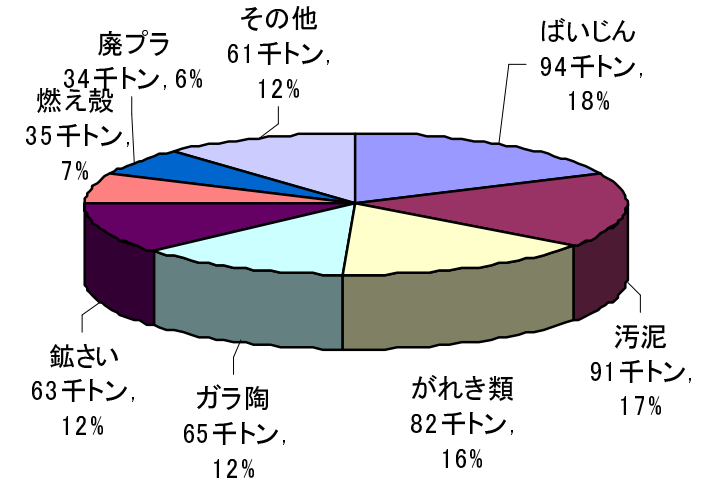
廃棄物の種類	目標とする最終処分量の削減(万t)	目標の考え方
ガラス・陶磁器くず	0.6	目標とする再生利用量の増加による最終処分量の減少
がれき類	2.0	同上
建設混合産業廃棄物	1.3	同上
計	3.9	

産業廃棄物の種類別排出量等（平成 20 年度実績）

種類別排出量



種類別最終処分量



種類別再生利用量

